

一般質問

一般質問



門馬まりえ 議員

JR 常磐線

全線開通への取り組みを

町長／関係機関への要望を継続

門馬 町は、広野駅の東側にはロータリーを整備し、西側には新しいトイレを整備しました。さらに今後も駅舎を含めた周辺の整備事業を進めると伺っています。また今春、ふたば未来学園が新校舎で開校し、今年度末には常磐線全線運行再開に合わせ、普通列車の増便及び特急列車の停車をJRに要望するなどの取り組みをすべきではないか。

職員人事

取り組む際の考え方は

町長／適材適所に配置

門馬 平成31年の人事異動が、4月1日発令された。人事とは職員の士気の高揚・組織の活性化・しいては町民福祉の向上に資するものと考えます。もとより人事権は、執行者の専権事項で有ることは承知の上で、個々の案件には言及する考えはありません。ただ町長が人事に取り組む際の考え方は、

町長 人事については、職員の能力育成と資質の向上、適材適所による職員の能力の活用、職場の活性化等を考慮し、職員の経験能力に応じた職員配置を行っています。



門馬 巧 議員

移住希望者

受け入れ策の構築を

町長／移住者に対する助成制度を検討する

門馬 原発事故による避難12市町村への移住意向調査を復興庁が、首都圏・近畿圏の福島県となんらかの縁がある約3600人に移住意向のアンケート調査を行った。この情報を本町として前向きに捉え、早急に対応策の構築を図り、町勢振興に繋げる政策を執れないか。

町長 JR広野駅東側の住宅用地の整備について、若者世代の移住、定住を促進するため、魅力的なまちづくりを進めると共に、移住者に対する助成制度を検討します。

町バス

予備バスも活用せよ

町長／利活用を検討する

門馬 町には、現在3台の町民バスと、1台の予備バスがあります。この予備バスを、町民の各種団体に所属する方達が、町外活動等への移動の際に、利活用することが出来ないか。

町長 バスの運転手の対応は職員又は臨時の雇用で対応している状況です。町バスの利活用については、団体の活動内容、貸し出しの必要性を検討し、公平に計画的な町バスの運用を図っていきます。



町長 「常磐線全線運行の再開に向けた町の取り組み」につきましては、福島第一原発事故の影響により休止している路線の再開には、会長が県知事の福島県鉄道活性化協議会、会長が南相馬市長の常磐線活性化協議会において、町は、構成団体として

参加しJR東日本、国土交通省、復興庁等への要望活動を行っています。町は、JR東日本水戸支社と広野駅周辺整備に関する包括協定を締結し、未来の架け橋や駅構内の連絡橋へのエレベータ設置、ホームの段差解消などのバ

リアフリー化、駅舎及び駅前広場の改修を実施します。今後両協議会の要望活動を始めとして、特急列車の運転再開及び広野駅への停車、普通列車の増便など取り組んでいきます。